

きこえとことばの教室だより

武蔵村山市立第九小学校 校長 五十嵐 誠一
平成29年7月3日 NO.2
きこえとことばの教室
文責 井尻 真歩



梅雨入り宣言があったかと思えば、気温が30度を超える日があったり、半そででは肌寒い日があったりと、気温の変動が激しく体調を崩しやすい時期となりました。体調管理をしっかりと毎日過ごしていきたいですね。2週間の市内相談期間を終えて、通常の通級指導体制に戻りました。夏休みまで一緒に元気いっぱい頑張りたいと思います。



ことばグループ

吃音の学習
お悩み相談会
ゲーム など

グループ活動が 始まりました!

わくわくグループ

お話タイム
協力タイム
ゲーム など



* 予定は、それぞれお手紙を配布してお知らせします。



さくらんぼの会のお知らせ

年に2回ある、さくらんぼの会の季節がやってまいりました。今回は…夏にエネルギーを蓄えるには、ぴったり! 簡単やきそばを作ります。この会には御兄弟も参加できます。皆様の参加をお待ちしております。

日時 7月7日(金) 15時30分~16時45分

場所 第九小学校 家庭科室(2階)

参加費 1人 100円 内容 やきそば作り

持ち物 上履き、エプロン、三角巾、水筒、タオル(手拭き用)、マイ箸、マイ皿

* 参加申込書を担当教員にお渡しください。



難聴について

今回は、難聴の子供について、学級や家庭でどのような配慮をしていただきたいかお知らせします。御参考になれば幸いです。

<子供の顔を見て、やや大きめの声で、

はっきりと端的に話す>

聴力低下のある子供は、聞こえにくさを補うため、口の動きを見て話の内容を理解しようとします。板書をしながらかくと聞き取れないことが多いようです。声の大きさや話し方、話速を工夫してください。

<周囲への理解を図る>

聞こえにくさは、目に見えないことなので、周囲からの理解が得られにくい場合があります。難聴児が感じる聞こえづらさや補聴器の役割や大切さなどを、説明してあげてください。

<座席の位置は、

前から2~3番目>

周囲の子供たちの動きを見て行動することも多いため、先生の指示がよく分かり、前や隣の子供の動きを参考にできる位置がよいようです。

<活動が目で見えるような指示や教材の工夫を>

音声だけの聞き取りで、内容を理解することが難しい難聴児の場合は、視覚的な指示や教材が有効です。何をするのか分からないと、「どうせ分からない」と学習意欲も低下してしまいます。行うことを板書したり、指名は2番目以降にしたり、子供に見通しをもたせるような工夫が学習や活動の理解につながります。